

## 日本運動器看護学会 第 16 回学術集会プログラム

テーマ：「運動器看護の現場に活用できる医療制度のしくみを知る、創る、広げる！」

会場：はまぎんホールヴィアマーレ（横浜市西区みなとみらい）

学術集会会長：叶谷由佳（横浜市立大学医学部看護学科）

趣旨：超高齢社会が進むなかで、高齢者の骨粗鬆症や関節疾患、骨折、脳血管障害などで運動器（運動機能）に障害を持つ方、あるいは障害を持つリスクの高い方がますます増加することが予想されます。そのため、高齢になっても生き生きとした生活を送ることができるよう支援するための運動器看護学の発展が求められます。運動器看護学が発展し、高齢者の QOL 向上に貢献するためには実践とそれを支える研究、またそれらを実現するシステムや制度との融合が欠かせません。そこで、本学術集会では、実践での課題をどのように研究につなげるか、また研究結果をどのように実践に活かすか、さらに研究結果をどのように制度に活かし、それらを基盤にどのように質の高い実践をしていくかという視点で、現在の医療制度を知るとともに、運動器看護の現場から制度につなげていく方法について議論していきたいと考えます。

### 第 1 日目：平成 28 年 6 月 4 日（土）

- 10：00～10：50 会長講演 座長 柳本優子（千葉大学医学部附属病院）  
「運動器看護における医療制度の活用と発展」  
叶谷由佳（横浜市立大学医学部看護学科老年看護学教授）
- 11：00～12：00 基調講演 座長 叶谷由佳（横浜市立大学医学部看護学科）  
「知事として看護職に期待すること」  
黒岩祐治（神奈川県知事） 予定
- 13：00～14：00 教育講座 I 座長 小山幸代（北里大学看護学部教授）  
「運動器看護学の実践から政策へ -人工股関節手術を受ける患者への  
ケアシステムの構築に向けて-」  
佐藤政枝（横浜市立大学医学部看護学科教授）
- 14：10～16：00 一般演題：口演 座長 三好礼子（横浜市立みなと赤十字病院）  
小山友里江（慶應義塾大学看護医療学部）
- 16：10～17：00 一般演題：ポスターセッション 座長 中山栄純（北里大学看護学部）
- 17：00～17：45 実践講座 座長 高橋郁子（済生会川口総合病院）  
「運動器看護において高齢者を支える多職種連携と退院支援」  
竹端義子（恵寿総合病院・JSMNC2 期）

日本運動器看護学会相談コーナー（認定審査委員会、事務局）

第2日目：平成28年6月5日（日）

- 09：40～11：40 シンポジウム 座長 吉田澄恵  
(千葉大学大学院看護学研究科附属  
看護実践研究指導センター)  
「運動器疾患をもつ独居高齢者をどう支えるか」  
シンポジスト 田中利和 (キッコーマン (株) キッコーマン総合病院副院長・整形外科部長)  
下村晃子 (横浜市立脳卒中・神経脊椎センター看護部  
慢性疾患看護担当係長、慢性疾患看護専門看護師)  
清田みゆき (横浜市立大学附属病院福祉継続看護相談室継続看護担当看護師)
- 11：40～12：40 昼休憩  
日本運動器看護学会相談コーナー (研究支援委員会、編集委員会、研修委員会)
- 12：40～13：40 日本運動器看護学会 総会  
13：40～14：00 第4回日本運動器看護学会認定運動器看護師 認定式
- 14：10～15：10 教育講座Ⅱ 座長 平岡峰子 (徳島大学病院)  
「ロコモティブシンドロームの予防 -膝疾患を中心に-」  
齋藤知行 (横浜市立大学医学部医学部長・整形外科教授)
- 15：20～16：00 JSMNC 活動報告 (認定審査委員会主催)  
座長 長坂奎英 (キッコーマン (株) キッコーマン総合病院)  
一條久美 (東北大学病院・JSMNC3期)  
佐野玉美 (熊本整形外科病院・JSMNC3期)